

「地方創生汚水処理施設整備推進交付金」を活用した地域再生計画（三重県伊賀市）

自然豊かで魅力溢れ、歴史彩る秘蔵の国「いが」の環境保全計画

作成主体	三重県伊賀市
区域	伊賀市の全域
計画期間	R 4～R 8 年度



ブランド米「伊賀米」



空き家対策事業



移住コンシェルジュによるワンストップ相談窓口



◆背景

○人口減少による基幹産業の担い手不足が深刻化

- ・人口 90,581人 (H27) → 84,023人 (R2)
- ・認定農業者数 230人 (R2. 2月) → 223人 (R2. 11月)

○環境に配慮した安心・安全な社会基盤づくりによる地域振興への期待

- ・単独浄化槽から合併浄化槽へ転換に補助（市単費）を上乗せ (R4～R8予定)

◆目標

農業集落排水施設の機器類の機能更新、通報装置のクラウド化により災害時の迅速な対応が可能となる。また、処理場の統廃合を実施し、維持管理コストの削減を図る。加えて、災害に強い浄化槽を整備することにより汚水処理人口普及率の向上を図る。これらにより、環境に配慮した安心・安全な社会基盤づくりを実現し、移住者の増加と継続した農業の展開による新たな担い手の確保を行い、基幹産業である農業の振興を目指す。

【数値目標】

- ・汚水処理人口普及率の増加 83.0% (R2) → 86.0% (R8)
- ・統廃合処理区の維持管理費の削減
31,130千円 (H30～R2の平均値) → 27,997千円 (R8)
- ・認定農業者数の増加 217人 (R2) → 244人 (R8)
- ・移住者数の増加 94人 (R2) → 460人 (R4～R8の累計)



◆取組

○農業集落排水施設及び浄化槽を総合的に整備

農業集落排水施設 通報装置の更新（クラウド化）465箇所、
中継ポンプ更新 17箇所、処理場の統廃合 1処理区
浄化槽 1,100基

【地方創生汚水処理施設整備推進交付金（内閣府）】

総事業費 1,106,850千円 (うち交付金 447,050千円)

○その他の事業

- ・移住促進事業、伊賀流「空き家バンク制度」、伊賀米うまい米コンテスト